

平成 26 年度(2014 年度)【平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月】企業訪問実績

1 訪問実績

月	訪問企業数		訪問業種	
	内 訳			
平成 26 年 4 月	20 社	既訪問(～平成 25 年度)	18 社	<訪問業種合計> 製造業 18 社、卸業 1 社 その他 1 社
		既訪問(平成 26 年度)	1 社	
		新規訪問	1 社	
5 月	22 社	既訪問(～平成 25 年度)	17 社	<訪問業種合計> 製造業 19 社、卸業 3 社 その他 0 社
		既訪問(平成 26 年度)	4 社	
		新規訪問	1 社	
6 月	27 社	既訪問(～平成 25 年度)	17 社	<訪問業種合計> 製造業 26 社、卸業 1 社 その他 0 社
		既訪問(平成 26 年度)	9 社	
		新規訪問	1 社	
7 月	27 社	既訪問(～平成 25 年度)	11 社	<訪問業種合計> 製造業 26 社、卸業 0 社 その他 1 社
		既訪問(平成 26 年度)	10 社	
		新規訪問	6 社	
8 月	13 社	既訪問(～平成 25 年度)	2 社	<訪問業種合計> 製造業 8 社、卸業 1 社 その他 4 社
		既訪問(平成 26 年度)	4 社	
		新規訪問	7 社	
9 月	22 社	既訪問(～平成 25 年度)	1 社	<訪問業種合計> 製造業 10 社、卸業 5 社 その他 7 社
		既訪問(平成 26 年度)	4 社	
		新規訪問	17 社	
10 月	19 社	既訪問(～平成 25 年度)	6 社	<訪問業種合計> 製造業 13 社、卸業 2 社 その他 4 社
		既訪問(平成 26 年度)	4 社	
		新規訪問	9 社	
11 月	19 社	既訪問(～平成 25 年度)	15 社	<訪問業種合計> 製造業 13 社、卸業 3 社 その他 3 社
		既訪問(平成 26 年度)	2 社	
		新規訪問	2 社	
12 月	14 社	既訪問(～平成 25 年度)	6 社	<訪問業種合計> 製造業 12 社、卸業 0 社 その他 2 社
		既訪問(平成 26 年度)	5 社	
		新規訪問	3 社	
平成 27 年 1 月	6 社	既訪問(～平成 25 年度)	5 社	<訪問業種合計> 製造業 6 社、卸業 0 社 その他 0 社
		既訪問(平成 26 年度)	1 社	
		新規訪問	0 社	
2 月	12 社	既訪問(～平成 25 年度)	2 社	<訪問業種合計> 製造業 11 社、卸業 1 社 その他 0 社
		既訪問(平成 26 年度)	10 社	
		新規訪問	0 社	

3 月	6 社	既訪問(～平成 25 年度)	0 社	<訪問業種合計> 製造業 6 社、卸業 0 社 その他 0 社
		既訪問(平成 26 年度)	6 社	
		新規訪問	0 社	
平成 26 年度 合 計	207 社	既訪問(～平成 25 年度)	101 社	<訪問業種合計> 製造業 168 社、卸業 17 社 その他 22 社
		既訪問(平成 26 年度)	59 社	
		新規訪問	47 社	

2 主な訪問成果等

- (1)ものづくり・商業・サービス革新補助金を紹介、全面支援した4企業が全て採択された。また、同補助金を紹介しながら、関心の度合いを聞いた所、関心が非常に高い企業が多いという実態が把握できた。支援目標の一つとして確認が出来た。
- (2)小規模事業者持続化補助金を紹介、2企業が採択された。
- (3)展示会等出展事業補助金への応募が 18 社あった。(不採択企業が 3 社あったが)補助金予算の全額執行に寄与できた。
- (4)共同研究開発補助金への応募は 3 社と少なかったが、全企業採択となった。
- (5)マッチング事業(産⇒産、学)の推進を行った。紹介 11 件、成立 3 件。
- (6)市長との懇談会、エコアクション 21 認証取得事業、創業支援型事業、経営革新計画取得事業等の新規訪問企業 33 企業訪問。状況の確認と情報収集ができた。
- (7)今年度の展示会等出展事業補助金の採択企業の状況確認の為の訪問を行い、展示会補助金に対する企業の認識、展示会出展の効果を早く確認出来た。
- (8)産官学のマッチング成果として、企業間マッチング 2 件(内、1 件は吹田市の企業と尼崎市の企業)、産官マッチング 1 件(企業と大阪産業デザインセンター)と色々のパターンのマッチングが出来た。又、企業と大学(2 大学)とのマッチングの紹介も行った。
- (9)市長との懇談会(経営革新計画取得企業を対象とした)を欠席した、未訪問企業を訪問した。新しい切り口で、新規訪問が出来た。
- (10)求人で困っていた企業に JOB ナビすいたを紹介し、担当者に訪問を依頼する。結果として 4 企業中、2 企業ですぐに採用が決まった。

3 訪問企業からの要望等

- (1) 展示会等出展事業補助金の対象月をもう少し早めて欲しい(9月から)。
- (2) 展示会の対象会場にマイドーム大阪を入れて欲しい。
- (3) 本店登記だけを、吹田市以外に残している企業。本社機能を含め全て吹田市にある場合、吹田本社扱いで、対応をして欲しい。
- (4) 地元企業等共同研究開発事業補助金の補助対象経費の中に、人件費を入れて欲しい。補助率を2/3にあげて欲しい。
- (5) CO2削減、省エネ対策をした時の補助金を考えて欲しい。
- (6) 吹田市内企業が優先して受注出来る制度を作って欲しい。
- (7) 江坂公園下の駐車場はどうなるのか。駐車場として再開して欲しい。
- (8) 企業立地促進奨励金に関して、新興企業にとっては、事業所の新設、拡張をする場合に自社物件というのはハードルが高い。
- (9) 企業に利益が出る形での入札にして欲しい。入札に参加しても、利益が出ないので脱落している吹田市の企業が多い。
- (10) 中小企業、小規模事業所で社員の健康診断を行っていない社員がかなりいる。市として、事業所に健康診断の実施を呼びかける活動をして欲しい。
- (11) 学校にソーラーパネルの設置をして省エネ対策をして欲しい。八尾市の小学校ではソーラーパネルの設置を行っている。
- (13) 豊津公園内に喫煙ルームを設ける必要があるのか。岡本太郎の「リオ」が雨ざらしである。対応をして欲しい。

4 訪問活動における課題等

- (1) 中小企業ホームページ作成事業補助金の応募が10社(他に辞退、セミナー不参加企業・3社)と予算目標の半分に終わった。ホームページを作っていない企業の特徴を理解して紹介をする必要がある。
- (2) 今年の共同研究開発事業補助金の応募は3企業であった。早めに紹介をしたつもりであるが、書類作成、相手企業・大学との調整等時間がかかるので、その事も考えてのフォローが必要である。
- (3) 展示会等出展事業補助金に応募する予定の企業、中小企業ホームページ作成事業補助金に応募する予定の企業と、実際の応募企業数に乖離があった。紹介後のフォローも重要である。反面、展示会等出展事業補助金は不採択企業を増やすだけの面もある。
- (4) 環境配慮事業補助金への対応が出来なかった。工業地域、準工業地域での適用に限られる事、ある程度大手企業でなければ、1/2の自社負担が難しい等の問題点もある。工場が出来た時は工業地域、準工業地域で有った為に許可されたもので、その後用途地域が変わっただけである。その為に、住居系地域に工場があるだけである、との言い分もある。
- (5) 新規企業への訪問を増やしたい。市長との懇談会対象企業、商工会議所との連携、展示会出展企業(補助金未応募)等、新規企業との接点を広く探っていく事が重要である。
- (6) 産官学の連携を推し進めてそれなりの成果があったが、更にマッチングを進めて成立マッチング件数を増やしたい。
- (7) セミナー事業において、後半に開催したセミナーの出席者数が10名前後と低調になった。セミナーの議題にもよるが、出席促進への工夫が必要であった。